

投げと受け身 息ぴったり

岡崎の近藤さん 安城の大河内さん 全日本柔道「形」で栄冠

東京都であった全日本柔道「形」競技大会(全日本柔道連盟主催)の投げの部で、岡崎市真福寺町、岡崎工業高校教諭・近藤克幸さん(35)と、安城市赤松町、接骨院経営・大河内哲志さん(38)のペアが初優勝。投げの部での県勢の優勝も初めて。

投げや受け身のフォームを二人一組で実演、その動作の完成度を競う。全国の地区予選を勝ち抜いた十組が出場した。

二人は昨年からペアを組み、国体での優勝経験もある近藤さんが投げ役で、大河内さんが受け身役。大会では、背負い投げや浮き落としなど十五種類の技を披露した。

大会前の一週間、深夜まで熱のこもった練習をしたという二人は、本番でも息はぴったり。近藤さんが力いっぱい投げ技を掛けると、タイミング良く体を浮かせた大河内さんが受け身を決めた。二人は優勝を機にペアを解消するが、「今後は、子どもたちに形の楽しさを伝えたい」と話している。